

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 庄内厚生館 あなみ保育園
------	------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センター

②第三者評価実施期日

令和6年1月29日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 庄内厚生館 あなみ保育園	種 別：保育所
代表者氏名：理事長 伊藤 大海	定員（利用人数）60名（56名）
所在地：〒879-5405 大分県由布市東長宝 596-1	
TEL：097-582-1221	

④総評

◇評価の高い点

- ・法人全体として庄内厚生館ビジョン（10年計画）を策定し、「利用者本位の最良の福祉」基本理念を掲げて、子どもたちの最善の利益を考慮し、保護者ニーズに応え、地域に貢献できるよう、広範に保育サービスの動向等を把握しながら、保育の質の向上にむけて、組織的・計画的に取り組んでいる。
- ・職員の人材育成については、「職員の心得マニュアル」を策定しており、“よき保育者になるため”に具体的に保育者が取り組む、社会人としての基本に必要な項目を掲げ、社会性・専門性・個々の職員の身だしなみ・人権に配慮した保育名等々について、職員一人ひとりが自らモチベーションを高めて、質の高い保育所づくりに取り組んでいる。
- ・子どもの自主最善の利益を考慮した、「誉める保育」「自主自発の保育」「異年齢交流保育」等、子ども一人ひとりの存在を大事に認め、誉められる事で自己肯定感が育まれ、異年齢交流保育は、児童が多様な集団へ参加することから、協力・共同の社会性が育まれる等々、工夫しながら保育支援に取り組んでいる。
- ・子どものあるがままの姿を受け止めながら、保育方針に沿った保育を行い、子どもの発達に応じた声かけや必要に応じた対応を行っている。また子どもが自分の思ったことを伝えられる力を育んだり、気が付いたらできていたという経験から自信を持てる支援を心がけている。毎月、不適切保育についてワークや必要な情報を提供し、職員が適切な対応を意識できるようにしている。
- ・気になる姿だけではなく日々の姿を伝え合い関係を築くよう努めている。保護者が安心して仕事のこと、子育てのこと、家族のこと等、個別に相談の機会を設ける等、丁寧な対応を行っている。保育コーディネーターのフォローアップ研修の参加など、適切に対応できるよう体制を整えている。

・保育方針に「一人ひとりを大切にしたい保育」があり、方針を実践につなげられるよう、事業計画に園内研修を通して自分自身の保育の振り返り、チームとして在る姿を共有して保育の改善につなげることを全体の取り組みとして明示している。そしてキャリアパスの実施と、日々の保育の評価・反省点をクラス会議時に行い、職員同士がお互いの事後評価を見せ合い、保育実践改善・学びの意識向上や専門性の向上につなげている。

◇改善を求められる点

・保護者からの相談や意見等について、具体的に対応できるようマニュアルを再検討して、提案等を受けた後の手順、対処方法、公開か非公開等と、外部委員を入れた第三者委員会の設置等について、組織的に取り組むことを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

子どもの生きる力を育むため、基本的な生活習慣はもちろんの事、「きいて、考えて、動く」と主体的に子ども自身が活動に向かい、就学時までに自信をたくさんつけていってほしいと願い日々保育に取り組んでいます。

第三者評価を受審して、自園の評価を確認することが出来たことはこれからの取り組みに活かせると思うので、職員みんなで一つひとつ話し合いながらこれまで以上に良い保育に繋がるよう取り組んでいきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）